



LINE QR コード

令和5年 7月 第464号

浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

もう盂蘭盆会

今年も一年の半分が過ぎ、お盆の季節になりました。桜、薔薇、菖蒲、紫陽花も終わりと「蓮」が咲き始めました。



盂蘭盆会の法要申し込みも、今年も昨年までと比べると、合同法要の参拝申し込みがかなり増えております。コロナ感染が、早く終息してくれることをねがいます。

今年、浄恩寺縁者で初盆をお迎えになる方は、例年になく多く、健康な方が、突然死を迎えるケースが目立ちました。

心筋梗塞、脳梗塞は相変わらず多く、最近では、腎不全や自死される方が増えているように感じます。ワクチン後遺症やコロナ感染後遺症が疑われているのが現状かと思えます。

ご遺族の心が晴れることを願いながら、盂蘭盆会をお迎えしたいと思えます。

日本各地には、さまざまなお盆のかたちや風習があります。

「白無地の提灯を贈ろうか？」中国地方がご実家のお父さんから連絡がありました。お尋ねがありました。

「迎え火」「送り火」「おしよる様(ご先祖様の乗り物)」など、さまざまな相談が寄せられます。



「風習、しきたり、慣習、強要されてはならないと考えます。」



必要性や意義を感じ、取り組むことにより、自分の心が晴れると思われたいと思います。

「送り火は、花火を上げたり、鑑賞すること」でも「精霊流し」も風情があります。

それぞれのお盆の過ごし方があっていいのではないのでしょうか？ 悲しみを乗り越え、生きていくことに、心が歓びを感じられる時間をお過ごしされることを願います。



「ツルマギーデン」がオーブンして、鶴舞公園の雰囲気がかかりました。もとベビーゴンドリコートやカフェ、マルシェができました。池周辺の賑やかになるのはいいですが、秋の池に飛来していたカワセミは見られなくなりました。

